



ERINA REPORT (PLUS)

No.156

✓ 今号の見どころ

特集：ロシアの開発政策：国際関係、政策策定、地域開発

ERINA 調査研究部研究主任 志田仁完

ロシアは、経済の重心をヨーロッパからアジアへとシフトさせる「東方シフト」政策を展開してきました。しかし、世界を取り巻く状況は目まぐるしい変化を見せ、新型コロナウイルス感染症の影響は、ロックダウンや国境の閉鎖による経済活動の中断といった状況を生み出しています。

今号では、この新しい前提条件において、これまでロシアが進めてきた発展戦略が現在どのような状況にあるか、今後どうなるかという問題について、アジア諸国との関係や極東地域開発といった観点から検討した3本の論考を収録しました。

・・・1 ページ



インタビュー：「新潟から世界へ—愛宕商事の海外戦略」

・・・46 ページ

新潟県で学校法人、医療法人、社会福祉法人などを幅広く経営する NSG グループの中核企業として商社機能を発揮する愛宕商事株式会社代表取締役の高橋克郎氏に同社の海外戦略についてお聞きしました。



本インタビューでは、新潟市出身の高橋社長が総合商社で培われた対ロシア貿易の豊富な知識・経験と商社マンとしてのビジネスセンスを武器に、これからどのように愛宕商事の海外事業を展開していくか、ターゲットとする地域や商材などについて具体的に紹介されています。また、ふるさと新潟県の実発展のためには何が必要か、経済人としての想いも熱く語られています。